

令和6年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

東小学校 4年生

西東京ふるさと探究学習

単元名：
(活動名)

考えよう 保谷のこれから

ねらい：

保谷に暮らす様々な人の視点で見た「保谷のまち」を知り、ここで暮らす一員として保谷の未来を見つめ、考えを深めることができる。

インタビュー活動

インタビュー①外国生まれの方（モンゴル出身）

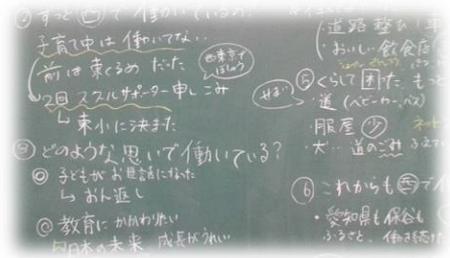
静かで穏やかな保谷のまちで、安心して暮らしているというお話を聞き、保谷の魅力に気がきました。

インタビュー②外国生まれの方（フィンランド出身）

自然が多いイメージの保谷ですが、フィンランドと比べるとまだまだ自然が少ないことや、外国と比べるとまちがとてもきれいだということを知りました。

インタビュー③地域で働く方（SSS、コーディネーター）

「地域に恩返しをしている」という気持ちで様々な活動を行っていることを知りました。「将来、地域を出て活躍の場を広げても、いつか地元に戻ってきてほしい」という思いを聞き、将来の自分の在り方について考えを深めました。



学習発表会での発表

11月までに学んできたことや取り組んできたことを、オリジナルの台本を作成し、発表しました。これまでの学習を経て「将来、自分は西東京市で暮らそうと思っているか」今の自分が思っていることを率直に発表する場面もありました。



自分の思いを深める

学習を振り返り、様々な方の思いと自分の思いを比較しながら、自分の考えを深めています。今後、まとめかたを話し合っていきます。

まとめ ～出会い・つながりを大切に～

ふるさと探究学習を通して、子どもたちは、地域の様々な方と触れ合うことができました。「インタビューした〇〇さんに公園で会って、あいさつをしました。」と報告をしてくれることもありました。地域に暮らす様々な方の視点で「保谷のまち」を知り、自分の将来を見つめられたことはとても大きな成果ですが、このような「つながり」が生まれたことも、この学習の1つの大きな成果であったと感じます。